

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

2024 年 6 月 27 日 申請 番号 2024018 2024 年 7 月 9 日 承認
【新人看護師に対する思考発話教育プログラムの検討】の軽微変更

2. 研究責任者(当院)

所属：聖隷佐倉市民病院 看護管理室

氏名：高橋 弥生

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

該当なし

3. 分担研究者

該当なし

4. 研究対象者

2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の間に、聖隷佐倉市民病院において
新人教育を受けた看護師、および新人教育を提供した看護師。

5. 研究の必要性

思考発話を受ける新人看護師、思考発話を行う熟練看護師双方に、思考発話研修の効果と課題
を調査し、臨床の場で新人教育の中に思考発話を組み込むプログラムを検討する。

先行研究では、新人看護師の推論能力開発の様相や臨床指導者の新人看護師支援行動と認識の変
化が明らかにされている⁴⁾ものの、思考発話の新人看護師への現場導入の効果の研究は未だ十分
とは言えない。また、臨床の場でケアを必要としている患者に対する思考発話の教育を成された
研究は見当たらない。そのため、大学や専門学校で学んだ看護の知識を臨床の場で看護師のよう
に判断していく過程を、教育の場ではなく、臨床の場で熟練看護師がその思考過程を提供するこ
とは非常に重要であり、新人看護師や経験の少ない看護師にとっては、臨床判断能力を向上する
一助になると考える。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

看護を提供する場では臨床判断能力が求められる。その能力は、看護師が経験を積み重ねること
で自然に上達させている。そして、思考プロセスは目に見えないため、熟練看護師ほど瞬時に
判断、推論を展開しており、新人看護師にとっては大変高度であり、難解なプロセスである。

臨床判断モデルを開発したタナーは、「看護師のように考える (think like nurses)」ことを支援
する必要があると述べている¹⁾。大学や専門学校で学んだ看護の知識を臨床の場で看護師のよう
に判断していく過程を、教育の場ではなく、臨床の場で熟練看護師がその思考過程を提供するこ
とは非常に重要であり、新人看護師や経験の少ない看護師にとっては、臨床判断能力を向上する
一助になると考える。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151 (代表)

担当者氏名：高橋 弥生

対応時間：9:00～16:00 (平日)

共同研究において専用窓口がある場合

該当無し

8. 変更概要

期間の変更 2028 年 3 月 31 日まで延長